

あわ

〈特集〉

「加入了、収入保険」



収入保険」

2019年1月から収入保険の保険期間が開始しました。
すでに加入されている6人の方に、加入のきっかけや
収入保険の魅力について教えていただきました。
ぜひお読みいただき、加入をご検討ください！

「甚大な損害に備えて」



西条市

真木 和親さん(64歳)

近年は異常気象が多発している。特に、期間が限定される七草の播種時期にはいつも苦慮している。通常は10月上旬頃だが、時季を逃せば、甚大な損害を被る。

絹かなすも、温度管理には繊細な注意が必要であり、灌水時期などを誤れば、不作に終わり、まさに死活問題となる。

農業は日々気象状況に目を配り、細心の注意を払わなければならない。収入保険は、さまざまな収入減少に対応してくれる。我々農家にとって「救いの神」だと思い、加入した。

【栽培品目】

水稲・絹かなす・ハウススイカ
春の七草・キウイフルーツ

「最高の保険」

長年、かんきつを栽培してきたが、昨年は豪雨災害によって甚大な被害を受けた。そんな時、共済職員から、熱心に収入保険への加入を勧められた。

収入保険は、昨年のような大災害の収入減少はもちろん、価格低下、病気などで作付ができない場合など、さまざまなリスクにも対応できる。そのうえ、全品目が対象となる、と説明を受け、とても心強い保険であると感じた。

また、例年の収入の9割を下回ると補償されるということも魅力。これまでの農業保険とは全く違う最高の保険だと思い、収入保険に加入を決めた。

【栽培品目】

温州ミカン・ポンカン・デコポン
甘平・ブラッドオレンジ

宇和島市

児玉 恵さん(53歳)



「安心して農業をするために」



今治市

大澤 譲児さん(68歳)

春から夏にかけて水稲・野菜を、冬はニンジン・ダイコンを、お彼岸や正月前には切り花をハウスと露地で栽培している。

天候不順で作物の出来が悪く、ほとんど収穫できなかった年もある。それを補償してくれるところが、加入した一番の決め手。けがや病気で収入が減った場合の補償も大きいと、去年手の手術をして感じた。それと共済職員の一押しも加入のきっかけのひとつ。

万が一の時は、収入保険が補償してくれるので、安心して農業ができる。今後もいろいろな作物に挑戦していきたい。

【栽培品目】

水稲・ニンジン・ダイコン・切り花など(ハウス・露地)

収入保険加入者の声「加入了、

「不安材料をカバーしてくれる」



砥部町

大内 建作さん(56歳)

温州ミカンの単価の低下や、かいう病によりキウイフルーツの収入がピーク時の3割程度まで落ち込むなど、さまざまな収入減少を経験した。昨年の豪雨のような自然災害や、自身の健康が今後の経営の不安材料。それらをカバーしてくれる収入保険に魅力を感じた。

努力をしても、うまくいかない時がある。そんな時にこそ制度を活用したい。収入が多い農家が加入するものだと考えもあるが、少ない人ほど加入するべき。

果樹共済に比べ掛金も安く、補償の幅も広い。今まで以上に、経営を安定させられるのではと期待している。

【栽培品目】

温州ミカン・イヨカン等かんきつ類
キウイフルーツなど

「新しいことに挑戦」



東温市

恒岡 茂文さん(75歳)

【栽培品目】

水稲・カボチャ・タマネギ・キュウリ
トマトなどの野菜

35年前に父親から引き継ぎ、就農した。3年前から部会長を務める地域のふれあい市へ出荷している。

共済職員の推進で収入保険を知った。当初は、従来の共済制度に満足していたが、地元で青色申告者が少なく、自分が1番最初に新しい事に挑戦しようと思い、加入した。

水稲共済の一筆方式の方が、ほ場単位での部分的な被害の場合に有利だと考えるが、収入保険は水稲だけでなく野菜も対象になり、大きな枠組みで補償してくれる点に興味を持った。

大災害が発生して転んでしまったときに、再び起き上がるための杖となってほしい。

「被害に遭う前に」



八幡浜市

中岡 敬治さん(47歳)

【栽培品目】

温州ミカン・清見・不知火・イヨカン
その他のかんきつ

2年前の台風18号で園地に土砂が流入する被害を受けた。また、平成30年7月豪雨など全国で自然災害が頻発している。万が一の時に「後悔先に立たず」とならないよう、収入保険に加入した。

おまけに果樹共済よりも掛金が安く、補償の範囲が広いのも魅力。

近年の異常気象は、これまでの営農技術では対応できなくなってきた。これまでにない新しい保険はありがたい。

さまざまな品種のかんきつを栽培しているが、今後は、主力のかんきつに力を入れ、売上を少しずつ伸ばしていきたい。



農業一年生、日々勉強

今治市

わたなべ だいき
渡部 大貴さん(22歳)

今やることに
全力投球!

「野菜の栽培は初めてなので、先輩農家の方からアドバイスをいただいています」と話す渡部さんは、愛媛県果樹研究センターで2年間の研修を終え、4月に就農。かんきつ6^ア、キウイフルーツ20^ア、ナス6^アを栽培している。

農業大学校3年生の時、果樹栽培の実習を通じ、手間をかけるほど、結果で返ってくる農業に魅力を感じ、就農を決心したという。

当初はかんきつを主にするつもりだったが、かんきつの仕事が落ち着く時期には野菜作りも、と思い農協の指導員へ相談したところ、近所にナスを栽培している農家がいたこともあり、4月下旬、6^アの畑に319本の苗を定植し、栽培を開始した。

かんきつの作業も行いながらの

毎日、ナスの収穫の次はキウイフルーツ・かんきつの収穫と続くため、休みはない。

「5年後、10年後のビジョンはまだ見えていませんが、今はやるべき事を必死にやるだけです。日々勉強です」としっかりと先を見据える。

就農一年目の挑戦は「手間暇かければ良いものができる」を信条に、全力投球で臨んでいる。



▲力強い笑顔で話してくれた渡部さん



もっと規模を
増やして
いきたいです



農業の楽しさを知ってもらいたい！

大洲市
松尾 佳治さん(35歳)

6年前に就農した松尾さん夫

妻。以前は県外の企業に勤めていたが、結婚を機に、佳治さんの地元である大洲市に帰郷し、就農。

農業の知識はなかったが、農家である父の指導を受け、地域の農家

や後継者団体から情報を得ながら農業を学ぶ毎日だ。現在、ハウス

でイチゴ5ア、ミニトマト8ア、

露地でスイートコーンなど60ア、

キウイフルーツ40アの栽培を行っている。

収穫した農作物は、産直市やス

ーパーに出荷しており、「お客さん

の美味しいという声が、自信につ

ながっている」と話す。また、妻

の佳苗さん(33)は大洲市・内子

町の若手女性農業者で組織する団

体「ぷらいまりー」に参加し、野菜や加工品を松山市の「お城下マ

ルシェ」に出品している。

佳治さんが栽培担当、佳苗さんが営業担当として、農業経営に組んでいる。「農業は総合職だね」と顔を見合わせる。

「農業は大変だというマイナスイメージが強いけど、楽しいこともたくさんあることを伝えたい。農業という職に就きたいと思ってもらえるとうれしいな」と笑顔を見せる。

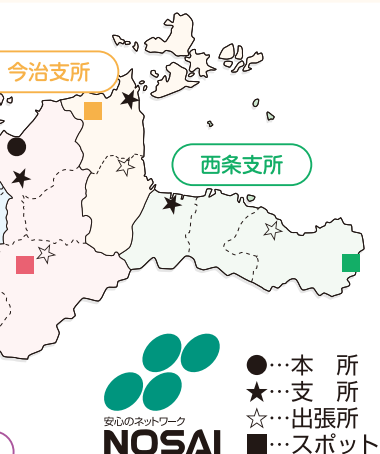


▲大事に育てたミニトマトを手に松尾さん夫妻



霧合の滝 (今治市菊間町松尾)

別名「古滝」と呼ばれ、古くから行水の滝として親しまれてきた。落差は10mほどだが水量が多いので、しぶきが霧となる。現在は滝壺のそばまでは近づけないが、暑い日に涼を感じるには十分すぎるほどだ。



職員コメント

夏だけでなく、
暑さが残る時期にもぴったり。
手軽にキャンプ・バーベキューが
楽しめるので、ぜひ行ってみてください。
日中でも木陰に入ると涼しいので、
夜は肌寒く感じるかも。



霧の高原 (塩塚高原) (四国中央市新宮町馬立)

標高千mの高台に広がる大自然。その名のとおり朝は一面霧で覆われる。爽やかな風、野鳥のさえずりに包まれると、暑さも忘れる。登山・キャンプなどアウトドアが楽しめ、近年ではパラグライダーのメッカとしても有名。

厳しかった夏の日差しも少しだけ和らいだと感じますが、暑さはまだまだ続きそうです。涼風が待ちどおしい皆さまに、県内の「涼」を感じるスポットをご紹介します。「涼」を求めて出かけてみませんか。



観音水 (西予市宇和町明間)

全国名水百選に選ばれている「観音水」。洞窟から聞こえる水が滴る音が、ネコの鳴き声に似ていると、話題になった。水の音と自然が生み出した景色を楽しんだあとは、奥にある観音像を訪れて欲しい。

【そうめん流し料金】
大人(中学生以上)600円／小学生300円／幼児100円



職員コメント

暑い日も涼しく、
岩に座って、川に足をつけると
気持ちいいです。
家族連れには水遊びがお勧め。
ただ、コケは滑りやすいので、
気を付けてくださいね。



成川溪谷 (鬼北町大字奈良)

足摺宇和海国立公園内にあり、清流によって刻まれた約3kmにわたる美しい渓谷。渓谷の中はマイナスイオンがふりそそぐ。温泉やキジ料理を楽しめる施設もある。岩が天然のすべり台になっており、たくさんの人が涼を求めてやって来る。



職員コメント

それほど大きな滝ではないが、
木々に包まれ水音を聞くと、
暑さを忘れるようなやさしい滝。
鮮やかな涼を感じる
お勧めスポット。
一度足を運んでほしい。



おそ ごえ 滝越の滝 (久万高原町上畑野川)

県道209号線からすぐの皿ヶ峰山系を水源とする高さ約15m、3段からなる滝。車を止め、溪谷を眺めながら5分ほど歩く。滝の音が聞えてくれば、美しい景観が広がる。日照り続きでも水量は変わることがなく、農業用水としての役割も担う。



上浮穴出張所
成松 直幸



職員コメント

こけむした岩の間を滑る
滝の様子は、水墨画のような美しさ。
そこから広がる冷気は、
周囲の緑と静けさに包まれると、
より爽やか! 滝の前では、
暑さを忘れてしまいますよ。

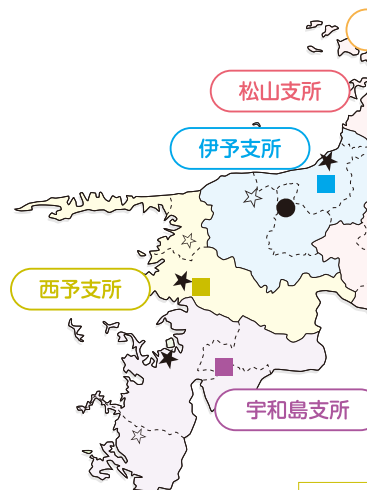


周桑出張所
渡部 貴大

鮮美透涼

せん び どう りょう

鮮美透涼…鮮やかで美しく、清らかに澄んでいること



職員コメント

山頂付近の林道を歩くと、
静かで鳥の鳴き声なども
よく聞こえる。樹高があるため、
適度な木洩れ日のある木陰なので、
暑い日でも涼しい風が吹き抜け、
とても心地が良い。



しん こう ざん 秦皇山 (伊予市中山町出淵)

瀬戸内海を見渡せる標高874m。杉などの森林に囲まれた緑豊かな場所だ。林道や遊歩道を登っていくと、頂上付近には公園やログハウスなどもある。眼下には山間の風景や、周囲の山々が広がる。



伊予支所
山本 純



職員コメント

暑い日に、涼を求めるならココ!
4月下旬から9月上旬まで、
そうめん流しもある。
天然水で冷やされたそうめんは、
景色を眺めながらだと
何杯でも食べられちゃう。



西予支所
兵頭 大輝

【園芸施設共済】

掛金が最大30%以下に!

生産部会等で**集団加入**すると**掛金大幅割引**となる**割引パッケージ**を導入しました!

1. 集団加入で共済掛金を割引

生産部会などの集団と農業共済組合が、園芸施設共済への集団加入に取り組む協定を締結し、確実な集団加入が見込める場合に共済掛金が**5%割引**

2. 小規模損害を除くことで掛金を割引

10万円または20万円以下の小規模損害を補償範囲に含めないことで掛金が**大幅割引**
※選択したコースによって割引率が異なります。
※令和元年9月から、50万円、100万円のコースも追加され、施設ごとに基準を選択できるようになります。

3. 一斉加入受付で事務費賦課金を割引

- (1) 10人以上の構成員が一斉加入受付を行った場合→**20%割引**
- (2) 5～9人の構成員が一斉加入受付を行った場合 →**10%割引**

4. 補強した特定園芸施設の共済掛金を割引

プラスチックハウスⅡ類の主要部分が31.8mm以上の径のパイプにより造られている施設
→**15%割引**

5. 耐用年数が大幅に超過した施設を除くことで掛金を割引

耐用年数2.5倍以上経過した施設を除外できます。
※耐用年数2.5倍超の例…パイプハウスの場合、25年以上

近年、台風や大雪などの自然災害が多発しています。農業用ハウスは経営に不可欠な生産施設です。今後も起こり得る自然災害等に備えて、公的な保険制度である農業保険に加入しましょう！農業保険では、掛金の原則50%を国が負担します。

組合との間で、県内で初の
「集団加入に取り組む協定」が
締結されました。

JA松山市 久万高原トマト部会

阪本 雅彦さん(54歳)

継続して園芸施設共済には加入しています。集団加入で掛金が安くなるし、本体だけでなく、附帯施設も割引対象となると聞きました。小規模農家でも同じように附帯施設は必要です。未加入の方にとってもメリットしかないのです、この機会の加入をぜひお勧めします！



水稻共済からのお知らせ

水稻共済の被害が発生した場合は申告をお願いします!

風水害、干害、その他気象上の原因(地震を含む。)による災害、
火災、病虫害、鳥獣害による農作物の減収が発生した場合は、
収穫前に速やかに被害申告をお願いします!

被害申告 および 損害評価野帳 の提出について

1筆ごとに3割以上(7割補償で加入の場合)の被害が見込まれる耕地は、その耕地ごとに、被害申告野帳の農家記入欄に記入の上、各地域指定の提出場所へご提出ください。

- 被害申告耕地の中から、予告なく実測(坪刈り)をすることがありますのでご了承ください。
【ご注意ください】
・評価後に被害が拡大した場合は再評価しますので、必ず収穫前にご連絡ください。

麦共済からのお知らせ

麦共済の加入申込みが始まります!

令和2年産 麦 加入申込期間
令和元年10月15日～11月15日

- 麦共済加入者で「経営所得安定対策の畑作物の直接支払交付金」の交付対象となった場合、共済金額は交付金を加味した手厚い補償となります!
- 個人ごとの危険段階別共済掛金率の導入により、過去の被害が少ない農家については、掛金負担が軽減されます!

【農作物共済 一筆方式の廃止について】

一筆方式は原則として令和3年産までで廃止され、以降は異なる方式から選択していただくことになります。

愛媛県農林水産研究所主催 令和元年度農林水産参観デー 「みんなで創ろう 令和を彩る 愛媛の農林水産業」

日 時：令和元年10月1日(火) 8:30～16:00

10月2日(水) 8:30～15:00

場 所：松山市下難波 農林水産研究所

松山市下伊台 果樹研究センター

「収入保険相談窓口」を設置します!

収入保険についての疑問などを組合の担当者が詳しくご説明いたします。多数のご来場をお待ちしています。なお、「収入保険相談窓口」は、果樹研究センターのみの設置となります。



写真は別イベント時の様子です。



シェフに捕獲情報、要望に応じた荷姿

ジビエ活用に貢献

小崎 武志さん(松山市) 松山支所発

畑を荒らす野生鳥獣をジビエ(野生鳥獣肉)として利用する活動が広がっている。愛媛県でも、野生動物を単なる害獣ではなく命に価値をつけ、捕獲活動で経済的に自立できることを目標にした組織「高縄ジビエ(渡邊秀典代表)」が活躍している。

「最も苦労したのは汚水処理」と話す高縄ジビエの設立メンバー・小崎武志さん(64)。通常使われる浄化装置は高額なため、1年以上研究を重ね、環境浄化微生物などを活用した低コストのシステム構築に成功した。

高縄ジビエは、獣肉や獣皮などの加工・販売を目的として、2017年に食肉処理施設を松山市八反地に開設。行政などの補助を受けるさまざまな制約があるため、設立メンバーの出

資の範囲内での施設開業を目指した。

メンバーとの連絡は、各自のスマートフォンで無料アプリを使う。捕獲後、すぐにメンバー全員に連絡が入る。とどめから血抜き、解体までの作業を現場に近



従来のスタイルから大きく転換させた高輪ジビエについて説明する小崎さん

い者が駆けつけて行い、鮮度を保つ。捕獲の情報は、オンラインで契約レストランに届けられるため、解体時にシェフのオーダーに応じた荷姿の出荷が可能だ。

農商福連携の新事業

浜っ子作業所(八幡浜市)

西予支所発



施設の取り組みを説明する施設長の吉見さん

八幡浜市大平の「就労継続支援B型事業所浜っ子作業所」では、市内で生産されたかんきつを使用したゼリー飲料「みかんのジャグチ」を販売している。福祉作業所と農業者、製造業者とが関わる農商福連携事業として、新しい取り組みを開始。地域活性化と共生社会の基盤づくりを進めている。

「これからは、同様の施設を高縄山系に開設し、商品を安定して供給できるようにしたい」と小崎さんは話している。

規格外かんきつ活用ーゼリー飲料「みかんのジャグチ」

みかんのジャグチは1個400円。作業所のほかネット購入もできる



地域産業 盛り上げ自立支援

「愛媛では蛇口からミカンジュースが出る」という都市伝説から名付けられたみかんのジャグチ。2019年1月に浜っ子作業所が販売を開始した。

「みなさんに手に取ってもらえるパッケージを目指

した」と話すのは、浜っ子作業所施設長の吉見友孝さん(56)。市内の農家から規格外などのかんきつを仕入れ、果汁の絞り出しやラベル貼り、イベントなどでの販売を行う。

果汁は、皮を一つ一つ剥ぎ、スロージュースーにかけることで、渋味を抑えた優しい味わいになった。果汁を絞った後は、地元の加工業者でゼリー化してパッケージに加工する。吉見さんは「種類により皮の配合を変え、本来の風味や香りが出るように試行錯誤している」と話す。

事業は18年4月に企画した。起業などを支援する地元団体「コダテル」のサポートで助成金を申請し、同年7月に試作品を製作。商品のラベルデザインやプロモーションビデオは、コダテル所属メンバーのつな

がりを生かして制作した。浜っ子作業所は、障がいがある20歳から50歳の13人の利用者と職員5人で運営。事業を通して、地域の基幹産業の盛り上げに貢献し、作業を通して得られる工賃の向上で障がい者の経済的

自立を支援していくことを目指している。

「平成30年7月豪雨」の際には、支援品としてゼリー飲料を提供。収益の中から一つにつき30円を八幡浜市社会福祉協議会(まごころ銀行)に寄付し、愛媛県の豪雨被災地への復興支援などに協力した。

吉見さんは「いつもは支援されることが多いが、支援品を作ることや収益の一部を寄付することで、困っている人の助けになる。作業所の利用者の生きがいや意欲につながればいいと思う。イベントなどの来客者との関わりも、やりがいとなっている」と話す。

現在、グローバルGAP認証を取得した県立川之石高校と連携し、県や市からのサポートを受け、東京オリンピックへのゼリー飲料の提供を目標にした新しい取り組みも始動している。



みかんのジャグチを手にした浜っ子作業所の利用者

共済掛金等の納入は口座振替で



組合員の皆さまへのお願い

NOSAIえひめでは、農水省の指導により「現金」の取扱いによる不祥事を未然に防ぐため、共済掛金等は口座振替での納入をお願いしてまいりました。

組合員の皆さまにより安心してご加入いただくために、口座振替への移行をいま一度お願いいたします。

なお、現金での取扱いはできません。

● 口座振替のメリット

共済掛金等の納入の際に、組合や金融機関の窓口に出向く必要がなく、自動的に預貯金から振り替えられますので、納め忘れもなく大変便利で、安心です。

● 口座振替への移行手続き

口座振替への移行の手続きは簡単です。ご希望の金融機関で口座振替がご利用できますので、手続きがお済みでない方には、支所職員が必要書類をお持ちいたします。

以下の金融機関で口座振替がご利用いただけます。

利用可能な金融機関		
県内各JA	愛媛県信連	ゆうちょ銀行
伊予銀行	愛媛銀行	愛媛信用金庫
宇和島信用金庫	東予信用金庫	川之江信用金庫
四国労働金庫		



● ひめのわ18号を読んでクイズを解いてください。

問1 愛農人の松尾さん夫妻が就農したのは何年前？
ア：3年 イ：6年 ウ：9年

問2 鮮美透涼の観音水で楽しめるのは？
ア：たらいうどん イ：そうめん流し ウ：冷やし中華

問3 園芸施設共済の掛金は集団割引で、最大で〇%以下になる？
ア：10 イ：20 ウ：30

● ハガキに必要事項をご記入の上、ご応募ください。

**3名様にJA直販所『太陽市』の
1,000円相当の商品をプレゼントします！**

●クイズの答え ●郵便番号・ご住所 ●お名前(フリガナ) ●年齢 ●電話番号 ●広報紙「ひめのわ」 へのご意見・ご感想 をお書きください。	62 7900002 NOSAI えひめ クイズ係 松山市二番町 4丁目4番2号
--	--

応募締め切り▶

令和元年10月31日(休)
(当日消印有効)

※いただいたご意見・ご感想を「読者の声」にて匿名でご紹介させていただく場合があります。
※応募によって得られた個人情報、プレゼントの発送及び広報紙作成の参考意見とする以外の目的では使用いたしません。

正解者の中から
抽選で

※10月1日以降は63円切手を貼ってご応募ください。

備えの種をまこう。

本 所 ☎089-941-8135
〒790-0002 松山市二番町4丁目4番地2

西条支所 ☎0897-55-2955
〒793-0006 西条市下島山甲1324番地2

宇摩出張所 ☎0896-75-1231
〒799-0702 四国中央市土居町小林964番地1

今治支所 ☎0898-31-2800
〒794-0026 今治市別宮町9丁目1番53号

周桑出張所 ☎0898-64-2055
〒799-1341 西条市壬生川111番地1

松山支所 ☎089-941-4623
〒790-0966 松山市立花1丁目8番42号

上浮穴出張所 ☎0892-21-0442
〒791-1206 上浮穴郡久万高原町上野尻甲44番地1

伊予支所 ☎089-982-0534
〒799-3113 伊予市米湊825番地9

喜多出張所 ☎0893-23-3222
〒795-0013 大洲市西大洲甲2419番地4

西予支所 ☎0894-62-2123
〒797-0017 西予市宇和町ひまわり1番地4

八幡浜出張所 ☎0894-22-1449
〒796-8004 八幡浜市産業通16番42号

宇和島支所 ☎0895-22-3536
〒798-0017 宇和島市和豊東町3丁目1番21号

南宇和出張所 ☎0895-72-0201
〒798-4131 南宇和郡愛南町城辺甲283番地第1



おひさま食堂の まるえちゃん夏野菜カレー

(756^{税込}円)

おひさまいち

太陽市に出荷されたオクラなどの夏野菜を

ふんだんにトッピングした「まるえちゃん夏野菜カレー」

野菜の甘みとスパイスの香りがマッチした絶品。

ルウは甘めなので、子どもでもおいしく食べられる。

太陽市の入荷状況で野菜が変わるのも楽しみ。

地元の味を
ギュッと。

「イヨ
メシ」



Spot Data

⑥松山市湊町8-120-1

☎089(913)7707 ⑥無休(年始1/1~1/4は休み)

営業10:00~15:00(ラストオーダー平日14:30/土・日
15:00)

Spot No. 14 えひめ中央 おひさま食堂

2019年4月にオープンしたJA直営複合施設「みなとまちまってる」の中にある。JA直販所「太陽市」に出货された地元の農産物を使ったメニューが勢ぞろい。サラダバーや果物を使ったスイーツも楽しめる。

地元の農産物を安心・安全
に提供しています。

(JAえひめ中央 直販部 越智浩二部長)



● 表紙モデル ●

収穫間近の鈴なりのトマトに
囲まれた篤也くん(7)と智也
くん(3)。おじいちゃんとおば
あちゃんが作ったトマトが好き
な2人は、収穫が待ち遠しい。
「澄んだ空気の中で育ったトマ
トをいっぱい食べて大きくなっ
てほしい」と母の典子さん。

自然豊かな久万高原で愛情込
めて育てるトマトは、平地に比
べ昼夜の温度差が大きいので、
うまみが凝縮されてとてもおい
しい。より新鮮なトマトを消費
者にお届けするため、大野さん
は日々、休みなく収穫する。



写真後列右から、大野弘さん、幸子
さん、篤也くん、智也くん、典子
さん(久万高原町)